

1.仕様

呼び径	20,25
適用流体	水道水
使用圧力	0.05～1.0MPa
使用温度	常温（20℃±15℃）※凍結不可

給水立管への設置個数は下表の通りです。

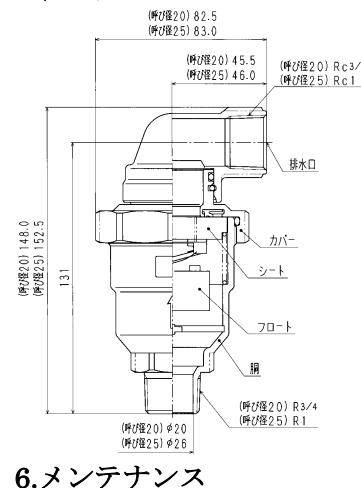
給水立管 最大口径	吸排気弁設置個数			
	東京都水道局 吸気量基準		都市再生機構 名古屋市上下水道局 吸気量基準	
	呼び径 20	呼び径 25	呼び径 20	呼び径 25
20A～50A	1 台	1 台	1 台	1 台
75A	2 台	1 台	—	—
100A	2 台	2 台	—	—
150A	4 台	3 台	—	—

注：水道事業体により設置基準が異なる場合がありますので、ご確認ください。

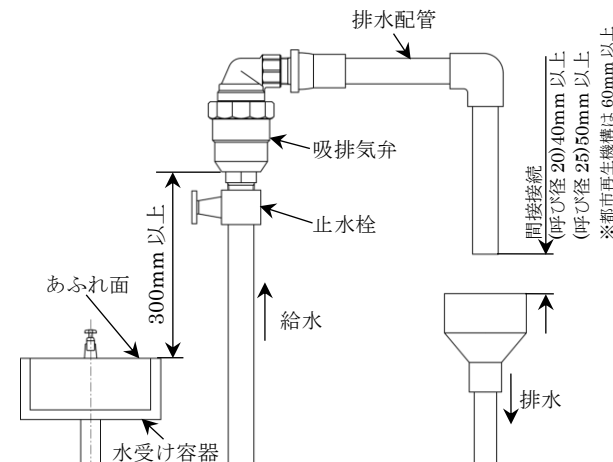
3.設置

- 1) 吸排気弁は給水立管内に鉛直とし、角度が 5° 以上傾かないように設置してください。傾きが 5° を超えると正常に作動しないおそれがあります。
- 2) 取付け位置は、給水器具や水受け容器のあふれ面より 300mm 以上上方に取付けてください。
- 3) 設置前に給水立管内の洗浄を十分に行ってください。
給水立管内のゴミは漏れの原因となります。
- 4) メンテナンス時に止水できるよう 1 次側に止水栓や仕切弁を必ず設置してください。また、メンテナンス作業ができる空間を確保してください。
- 5) シートへのゴミ噛み等の不具合発生時は、排水口から排水しますので、配管例を参考に排水管を接続してください。
- 6) 凍結が予想される箇所には凍結防止対策を施してください。
- 7) 排水配管は全長 1m 以内、口径は吸排気弁と同径とし、継手はユニオンソケット 1 個、エルボ 1 個までとしてください。
- 8) 排水配管の先端は、排水溝のあふれ縁より、その排水管径の 2 倍以上（20A の場合：40mm 以上、25A の場合：50mm 以上）の空間を設けた間接配管とってください。また、排水管は適切な支持を確実に行ってください。
- 9) 取付け方向は、「5.配管例」を参考に設置してください。
- 10) R ねじは、シールテープ等のシール材を使用し、胴下部のレンチ掛け部にレンチを掛けて、接合上、必要な締付トルクで締付けを行ってください。
- 11) 吐水口とホッパーの中心を合わせるように設置してください。排水の状態によっては、吐水口から外側へ飛散する場合があります。

4.製品図



5.配管例



6. メンテナンス

- 1) 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方が実施してください。一般の方は分解しないでください。
- 2) 排水配管の吐水口から常時排水がある場合や空気の排出がない場合等の異常が認められたときは、設備・工事業者または当社にご連絡ください。
- 3) 少なくとも年1回は水漏れ等の異常が無いことを確認してください。
- 4) 連続的に排水する場合、1次側の止水栓で止水した後、カバーを工具で取外し、シートとフロートを洗浄してください。
- 5) 部品に損傷や変形、劣化(変色、摩耗等)がある場合は、新しい製品に取り替えを行ってください。

⚠ 注意

- 取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- この器具は排水機能を有しています。重大な事故につながる恐れがありますので、排水管の接続を必ず行ってください。
- 止水栓はゆっくり開閉し、全開・全閉で使用してください。急開閉や中間開度で使用すると、性能の低下や器具の破損の原因となります。
- 凍結は漏水や器具の破損の原因となりますので、必要時は凍結防止対策を施してください。
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で触れないでください。
- 止水栓を開いたまま分解すると、水の吹き出しや内部部品の飛び出しにより、怪我をしたり、建物周辺を汚すおそれがあります。
- 万が一の排水に備えて、吸排気口へ同径の鋼管または塩化ビニル管等で接続し、所定の排水口空間を設けて建物の排水配管へ導いてください。排水口空間を設けず直接建物の排水配管へ接続すると汚水を吸い込み、給水を汚染する場合があります。また、排水配管をビニルチューブで施工すると吸気量が大幅に減少し、逆流を防止することができません。

仕様は予告なく変更する場合があります。最新の仕様は当社セールスセンターへご確認ください。

株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 2-1-56 (本社・工場)
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

ホームページ <https://www.tabuchi.co.jp/>



ホームページはこちら▶

商品の問合せは **0120-481-130**

※受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日・夏期休暇・休業日除く)